

## ～いまだにある?! しつけと称する体罰～

地震・雷・火事・親父、若い方には耳に馴染みがないと思われる、昭和の時代の「怖いもの」の代名詞です。実際に親父がどれほどの権威を持っていたかは、今では想像できないでしょうが、「家」ではかなりの権力者だったと記憶しています。またこの時代は、家庭でも学校でも体罰がまかり通る世の中でした。テレビでは「巨人の星」の飛馬が、親父にぶん殴られ、「アタックナンバーワン」の鮎原こすえは、猛烈なシゴキに耐える日々を送りながら♪苦しくたって～♪と歌っていた、スポコンの時代でもありました。あれから半世紀あまりが経過し、体罰を容認する考えは消滅していると思っていたところ、5月17日の山陽新聞の社会面にこんな記事がありました。

### 「しつけ」子に体罰3割超

※内容を抜粋して紹介します。

昨年11月～12月、全国5千人の親（一部祖父母を含む）を対象に実施。「過去6ヶ月以内にしつけとして子どもに体罰を与えたことがあるか」との質問に、1回でも「あった」と答えた人は33.5%。体罰は場合により必要などとする容認派が41.7%だった。体罰以外も含め、しつけとして行った具体的な行為を複数回答で聞くと「尻や手の甲をたたくななどの物理的罰を与える」（28.4%）、「どなったり『だめな子』などと否定的言葉を言ったりして心理的に追い詰める」（28.1%）が含まれた。また、「しつけに周囲のプレッシャーを感じる」「子どもの言動にいらいらする」などと日常的に感じる人に、体罰の頻度が比較的高いことがうかがえた。

#### ～子育てにおける体罰調査の主な結果～

##### 過去6ヶ月以内にしつけとして子どもに体罰を与えたことがあるか

- 日常的にあった（2.3%）
- 時々あった（12.5%）
- 1～2回あった（18.7%）
- 全くなかった（66.5%）

##### 子育てにおける体罰が法律的に禁止されていると知っているか

- 内容まで知っている（20.3%）
- 聞いたことはあるが詳しい内容は知らない（58.5%）
- 知らない（21.2%）

##### しつけとして行った具体的な行為（抜粋、複数回答）

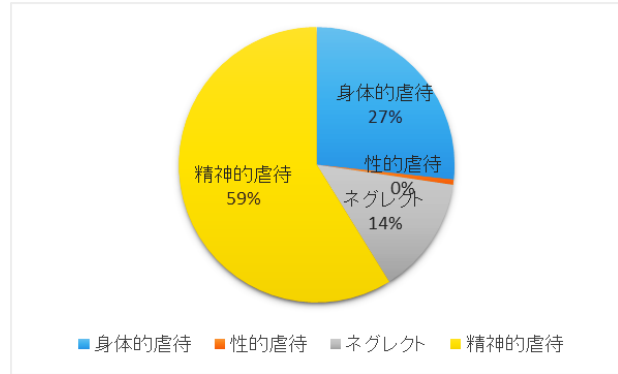
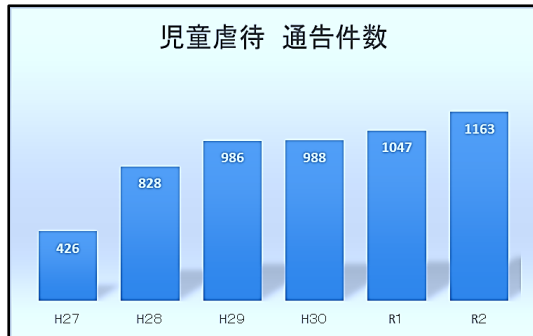
- 望ましい行動を積極的に褒めたり認めたりする（85.2%）
- 子どもの意見や思いに耳を傾けたり尊重したりする（84.2%）
- 尻や手の甲を叩くなど物理的罰を与える（28.4%）
- 怒鳴ったり「だめな子」など否定的言葉を言ったりして心理的に追い詰める（28.1%）

同省によると、子どもはたたかれたり怒鳴られたりすると、一時的には言うことを聞いても「自分も周りの人に暴力的な言動をとってもよい」と考えるようになる可能性があるという。

しつけとして行った具体的な行為で「褒める」「尊重する」が80%を超えていることにも注目したいですね。浅口市の学校でも「褒め言葉のシャワー」などの取り組みが行われています。

## 児童虐待

昨年度も掲載しましたが、「セーフティマップおかやま2021」（岡山県警発行）によると、県内の児童虐待数は年々増加し、R2年度はさらに増え1,163件で、過去最高になっています。



また、態様としては右上のグラフの様に、精神的虐待が半数以上を占め、続いて身体的虐待が27%となっています。虐待の具体的な内容については、次の様に分類されています。

身体的虐待	殴る、蹴る、たたく、投げ落とす、 <b>激しく揺さぶる</b> 、やけどを負わせる、溺れさせる、 <b>家の外に締め出す</b> など	性的虐待	子どもに性的行為をする、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	乳幼児を家に残して外出する、 <b>食事を与えない</b> 、 <b>ひどく不潔なままにする</b> 、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、ほかの人が子供に暴力を振るうことなどを <b>放置する</b> など	心理的虐待	言葉による脅しや <b>無視</b> 、 <b>兄弟間で差別的な扱いをする</b> 、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

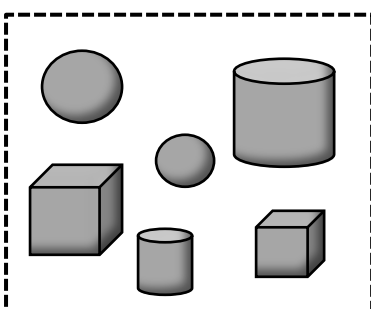
朱書きの部分は、比較的見逃しがちな行為ではないでしょうか。コロナ禍で親子が顔を突き合わせている時間が増えることにより、虐待も増えていくのか。逆に絆が深まるのか。親のやり方だけの責任にせず、地域や行政もその手助けができる世の中が、望まれてきている気がします。

## 各種会議が中止になりました

「浅口市育成センター運営委員会」（5月20日）、「指導員協議会総会」（5月26日）の会議が中止になり、書面決議を行いました。関係の皆様には急なことで、大変ご迷惑をおかけしました。コロナウイルスの影響で、今後も様々な予定が、中止や延期になる可能性がございます。

決まり次第連絡をさせていただきますが、内容によっては連絡が直前になる場合がございますので、誠に恐縮ですが、ご理解の上ご協力をよろしくお願いいたします。

## 脳は無限の宇宙



2017年11月、ある小学校の1年生算数の授業の出来事です。左枠内のような積み木が多数あり、同じ形のものを集めて、どうして同じなのか理由を考える授業です。一人の男子が挙手して、前に出て発表しました。👤 と 🌐（球体）を一緒に持っています。

「やっちまった!」と思っていると、彼が理由を言いました。『どっちも滑り台で転がるからです』この瞬間の驚きと感動は今でも忘れられず、その脳に宇宙の広がりを感じました。小学校ではよくあることかも知れませんが、こういう発想を大切にしていきたいですね。

※暗い話題が並んだので、ホッポリとするお話を入れたつもりです。